

退院遅延リスクに関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター総合内科では、「高齢者の退院遅延に關与するリスク因子についての後ろ向き観察研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、総合内科に入院した 80 歳以上の患者さんの疾患名や認知症の有無などを調べて、入院日数にどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2021 年 11 月 1 日より 2022 年 6 月 30 日までに総合内科で入院治療をした方の電子カルテの調査を行います。対象となるのは総合内科で入院治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（年齢、疾患名、血液検査結果など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。この件に關しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2022 年 9 月

研究責任者

東京医療センター 総合内科

本田 美和子

連絡先 03-3411-0111(代表)